

節水実践その5

トイレ



トイレでは、水が必要以上に流れないように工夫が節水のポイントです。  
(機種によって有効な方法が違いますので注意しましょう。)

特におすすめ

大小切り替えレバーの使い分けをする

レバーの「大」と「小」の水量の差は最小で約2ℓです。「小」で済む場合には「小」レバーを使いましょう。



節約の目安

1人あたり1年間で約4.5㎡(4,380ℓ)、約730円の節約  
(1日6回「大」ではなく「小」レバーを使う場合)

特におすすめ

必要以上に流さない

外出先などで周囲が気になり、水を流しながらトイレを使う人が多いようですが、流水音が流れる「流水擬音装置」がついている場合は、これを利用して流す回数を減らしましょう。

おすすめ

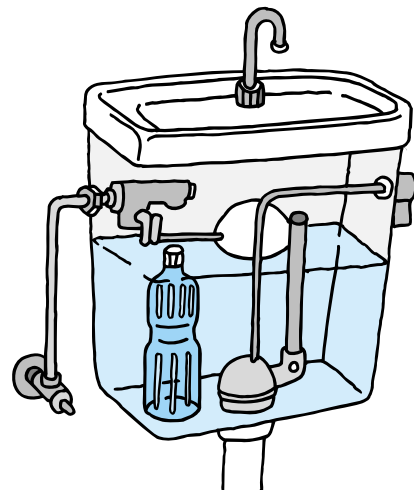
タンクの中に水を入れたビンなどを入れ、流れる水の量を少なくする

タンクの中に水の入ったビンなどを入れることで、タンクにたまる水の量を少なくすることができます。(タイプによりできないものや洗浄効果が得られないものもあります。)



節約の目安

1人あたり1年間で約2.5㎡(2,555ℓ)、約420円の節約  
(500mlのビンを2本入れ、1日に7回トイレを使う場合)



★おすすめ★

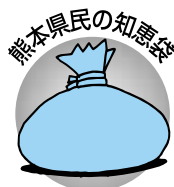


節水型トイレを使う

! 節水型タイプはタンク容量が約8～10ℓ。従来型は11～15ℓ。水の使用量が約2割少なくて済みます。(洗浄水量「大」8ℓ、「小」6ℓタイプの定価:140,000円～)

節水おもりを取り付ける

! トイレのタンク内の排水弁の上に取り付けると、おもりの働きでレバーを手動で止めることができ、必要な分だけの水を流すことができます。(市場価格:600円～)



風呂の残り湯をバケツ等にとっておき、トイレの流し水に利用しています。

! 便器に直接水(残り湯等)を流す以外に、トイレ使用後に水を流すと同時に、水(残り湯等)をタンクに入れるやり方もあります。タンクにある程度水がたまると、流れる水は止まるので節水となります。



1年間で約11㎡(10,950ℓ)、約1,800円の節約  
(1日に3回残り湯を再利用する場合)

トイレの給水タンク内の浮き玉をペンチなどで下方に曲げ、タンクにたまる水の量を減らしています。

! タンク内にピンなどを入れるのと同じ原理です。ピンなどは排水弁につながる鎖にからまることがありますが、これだとその心配がないそうです。